

りんご生育情報(10月号)

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

令和4年10月19日発行

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 気象の推移

9月15日から10月15日までの気温、降水量の推移は図1のとおりです。気温は、9月16～20日までは平年より高く推移し、9月21～22日、10月5～9日は平年より低く推移しました。ここ1か月は、この時期に多くみられる台風の上陸もなく、りんごの生育に大きな影響を及ぼすような気象経過はみられませんでした。

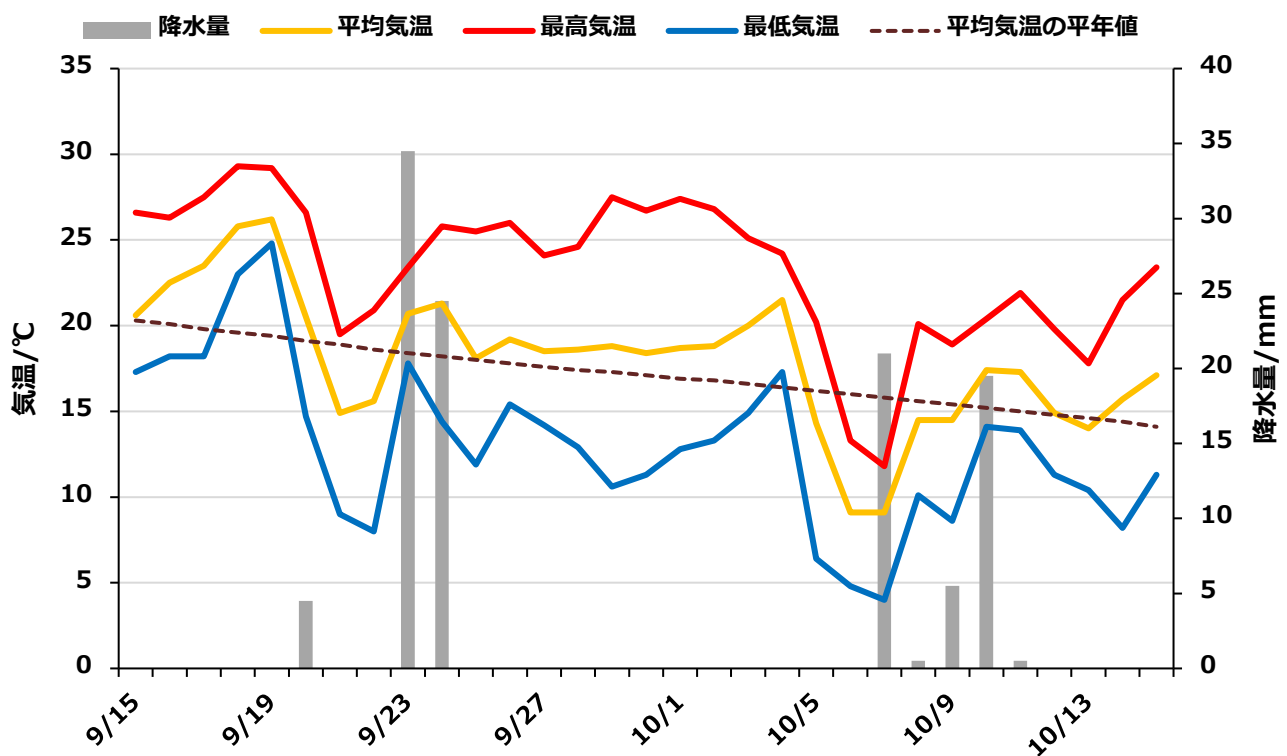


図1 9月15日から10月15日までの気象の推移（アメダス地点：米山）

2. 果実肥大状況

10月10日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径107%、ヨコ径108%と大きくなっており、果実肥大は良好です（表1）。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	81.8	90.7
平年値	76.8	84.1
平年比	107 %	108 %
(参考) ヶヨイ外樹	80.8	96.6

※東和町錦織の測定値。ヰヨイ外樹は中田町川欠の測定値。





3. トピックス ～ 鳥害対策について ～

日本で記録されている約 600 種の鳥のうち、農作物を加害するのは 20 種ほどです。特に果樹に加害する種としては、カラス類、ムクドリ、ヒヨドリが挙げられます。今年も当管内の一部地域では被害が確認されています。しかし、その対策が難しいのが実情です。

🍎 まずは、相手を知ろう

種名	全長	形態と行動の特徴	食性	巣の場所
ハシブトガラス	56cm	くちばしが太く、額は盛り上がっている。「アー、アー」と澄んだ声で鳴く。	雑食性 (動物の死体や人の残飯、昆虫や種子、果実、鳥の卵やひな)	樹上や 高圧線の鉄塔
ハシボソガラス	50cm	くちばしはハシブトガラスより細く、額はなだらか。「ガアア、ガアア」と濁った声で鳴く。		
ヒヨドリ	28cm	全体的に濃い灰色で尾が長い。波形を描いて飛ぶ。	主に果実食性で 昆虫類も食べる	林の公園、 庭の樹上
ムクドリ	24cm	尾が短く、全体的に黒っぽい。くちばしと脚が黄色～オレンジ色。	雑食性 (ミミズ、両生類、昆虫、果実)	樹洞や 人家の戸袋など 建物のすき間

🍎 農家単位でできる対策方法について

1) 防鳥網

防鳥網で作物を覆うのが最も確実な被害防止対策です。対象となる鳥の種類に合わせて網目の大きさを選ぶこと、すき間を作らないこと、網を作物から十分に離し、たるませないことが大切です。

防鳥網の目合いは、カラス類は 10 cm 以下、ヒヨドリやムクドリは 30 mm 目が一般的です。

また、農研機構では、果樹園のカラス対策「くぐれんテグスちゃん」や防鳥網の簡易設置「らくらく設置 3.5」などの対策技術が開発されています。下記 HP から様々な対策技術が検索できますので、ご覧ください。

(<https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/>)



技術紹介パンフレット
「農研機構の鳥害対策」

2) 威嚇による追い払い機器

効果が長続きすることは期待せず、なるべく安価なものを短期間使うのが良いでしょう。被害発生直前に取り付け、使用後は放置せずに片付ける、設置位置を時々変える、といった工夫で慣れを生じにくくすることが大切です。

3) 化学物質による摂食防止

日本では果樹に使用できる鳥用忌避剤は数少なく、人家付近に設置不可など周辺状況などに左右されるのが実情です。

参考：「鳥獣害対策の手引 2002」((社)日本植物防疫協会)

